

SIAF 関連トークイベント 「アニメーション作家ボリス・ラベが見た札幌・北海道」を開催します。

札幌国際芸術祭実行委員会では、札幌国際芸術祭を楽しんでいただけるよう、芸術祭で取り扱う現代アートやメディアアートに親しんでもらうプログラムを実施しています。

このたび、その一環として、平成 31 年 3 月に地下鉄さっぽろ駅コンコースにオープンする「アイヌ文化を発信する空間」で上映されるアニメーション作品を制作するフランス人アーティストのボリス・ラベ氏を迎え、トークイベントを実施します。

ラベ氏は、第 19 回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門で大賞を受賞するなど、世界的に活躍の幅を広げている若手のアーティストです。現在、同空間での作品制作に向けて、札幌・北海道でアイヌ文化に関するリサーチ活動を行っているところです。

当日は、ラベ氏のこれまでの活動を振り返りながら、道内でのリサーチの成果や作品制作への意気込みなどを語ってまいります。

どうぞお気軽にご参加ください。



ボリス・ラベ

1987 年ラムヌザン（フランス）生まれ、フランスとスペインを拠点に活動。短編作品、オーディオ・ビジュアル・コンサート、ビデオ・インスタレーションなどを制作するアーティスト／アニメーションディレクター。2013 年より Sacrebleu Productions と共同制作を行っている。短編作品《The Fall》が、カンヌ国際映画祭 2018 第 57 回国際批評家週間に選出。

アニメーション作家ボリス・ラベが見た札幌・北海道

日時：2018 年 8 月 4 日（土）17 時～18 時 30 分（開場 16 時 30 分）

会場：札幌アリアンス・フランセーズ（中央区南 2 条西 5 丁目 10-2 南 2 西 5 ビル 2 階）

定員：60 名（無料・要申込・先着順）

申込方法：件名に「8/4 トークイベント」、本文に「名前（ふりがな）」「電話番号」を記載し、E-mail（talk@siaf.jp）で申し込みください。